



みらい

学校だより No. 14
令和8年1月30日

校訓 『立志 清心 躍動』



みな中 HP QR コード



◆春はもうすぐ！みんな、あと少しがんばれ～。
来週から2月になります。暦の上ではもう春が目の前ですが、まだ寒さのせいか、朝、布団から出るのがつらくて、「あと5分…」と心の中で自分と交渉している人も多いのではないでしょうか。その後も、相覚まし時計との戦いがますます激しくなっていく人もいると思います(笑)。そのような朝の戦いに勝って、まずは学校に来ているだけで立派です。さて、1・2年生は確認テストが近づいてきました。「覚えたはずなのに、テスト用紙を見るとどこかへいってしまう知識」が戻ってくるよう、今うちにしっかりと復習しておきましょう。3年生はいよいよ私立高校・県立高校・福井高専の入試が目前になってきました。緊張で手が冷たくなっても、心臓がドキドキしても、それはやる気の証拠です。これまで積み重ねてきた努力は、試験当日、ちゃんと味方してくれます。深呼吸をして、自分を信じて挑んでください。寒さに負けず、気持ちは少しづつ春へ。2月もそれぞれの目標に向かって、一歩ずつ進んでいきましょう。

◆1月26日(月)生徒集会で「カタリバ」を行いました。

今年は、生徒会の皆さんのが「今までにない、新しいものをしてみたい」という考えのもとで生徒会行事を実施しています。その一つが先日行われた生徒集会での「カタリバ」です。全校生徒がいくつかのグループを作り、そのグループで日頃自分たちが考えていることや、質問したいことなどいろいろな話題を元に語り合うという企画です。先生方がメンバーになっていたグループもあり、どのグループも思った以上に語り合えていたようです。初めての取り組みで課題もあったと思いますが、生徒のみなさんが協力して、充実した1時間になりました。次もどんなアイディアが出てくるか楽しみです！



◆2月3日(火)は節分、4日(水)は立春です。節分と立春は何がちがうの？

節分とは毎年2月3日ごろにおこなわれる年中行事。「一年間健康に過ごせるように」という願いを込めて「悪いもの」を追い出す行事とされています。実は節分の発祥は中国。平安時代ごろに中国から伝わってきた文化が、日本古来の考え方と合わさって生まれたと考えられています。もともと節分とは、年に4回訪れる立春・立夏・立秋・立冬の前日を指す言葉。しかしいつしか、一年の始まりであり、大切にされていた「立春」の前日のみを「節分」と呼ぶようになりました。悪いものを追い出し、縁起のよいものを食べて、新しい季節を迎えるための行事なのです。

*節分では、なぜ豆をまくのでしょうか？

昔から豆には、鬼などの悪いものを追い出したり退治したりする効果があるといわれてきました。鬼は災いのもとと考えられていたため、豆をまくことで鬼を撃退しようとしたわけです。つまり豆まきには魔除けや邪気払いの意味があるということですね。



辛いという字がある。もう少しで、幸せになれそうな字である

by 星野富弘(詩人)